



広報

なな



第770号毎月1回発行
2015年(平成27年)

3月

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2015(平成27)年1月末現在	
総人口	323,200 (2,906)
男	156,546 (1,651)
女	166,654 (1,255)
世帯数	144,405 (1,757)

被災地から学ぶもの

さまざまな視点で考える災害への備え

阪神・淡路大震災は、今年で20年、そして東日本大震災は4年が経過しようとしています。甚大な被害をもたらした大災害を教訓に、さまざまな対策や計画が検討・作成され、これからも継続して取り組まなければなりません。

そんな中、過去の災害から高齢者や障がい者など、ハンディキャップがある人への「特別な配慮」や、さらに生活者である女性の視点として、妊産婦や子どもへの支援の必要性が指摘されています。

今回は、市における支援が必要な方への防災対策について、進行中の取り組みを紹介します。

「福祉避難所」協定

「福祉避難所」とは、大規模災害発生時において避難生活が長期化すると判断された場合に、一般の収容避難所(1次避難所)では生活に支障をきたす「災害弱者」へ介助や医療など専門的なケアを提供し、避難生活の中でも安心して過ごせるようにする『2次的避難所』のことです。

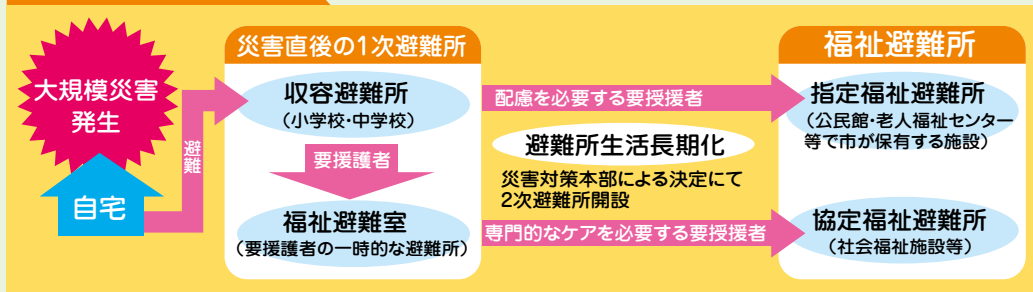
市では、災害弱者支援の一環として先月、市内で福祉施設を運営する14法人と「福祉避難所協定」を締結しました。この協定により、大規模災害発生時には、

要介護状態の高齢者や環境の劇的な変化に対応できない障がいのある人などへ支援を行います。



締結した法人は「災害発生時には、地域と協力しながら被害を最小限に食い止めるように頑張りたい」とあいさつしました。

福祉避難所の位置づけ



▲防災対策検討女性チームが提言する新都心に整備された災害用トイレのための汚水マンホール(便座やテントなどの上物は近くの施設で保管)

▼「福祉避難所」協定締結式



避難支援希望者名簿作成にご協力を!

市では、「避難支援希望者名簿」を作成しています。この名簿は、災害時に自力で避難するのが困難な高齢者や障がいのある方などが、地域の支援団体等による普段からの見守りや、災害時における避難支援を希望する場合に登録する名簿です。災害はいつ起こるか分かりません! 希望される方は、ぜひ早めの申請をお願いします。

【対象】

市内在住で下記のいずれかの条件に該当する方で、地域の支援団体への情報提供に同意できる方。

- 高齢者 ●障がいのある方 ●その他支援が必要と市長が認める方

【名簿の活用】

名簿は地域の支援団体に提供され、次の活動に利用されます。

- 災害時の安否確認や避難支援 ●平常時の状況把握や支援者の確保
- 市消防局による緊急時の情報活用

【地域の支援団体】

地域の支援団体とは、自主防災組織や民生委員児童委員連合会などの団体で、個人情報の保管体制が整備されている市長が認める団体です。

【申請方法】

受付窓口へ備え付けの「申請書」に必要事項を記入し、申請ください。

受付窓口

■那覇市役所(泉崎1-1-1)

福祉政策課	☎ 862-9002	FAX 862-0383
市民防災室	☎ 861-1102	FAX 862-0614
チャーがんじゅう課	☎ 862-9010	FAX 862-9648
障がい福祉課	☎ 862-3275	FAX 862-0621

■那覇市保健所

健康増進課	☎ 853-7961	FAX 853-7965
地域保健課	☎ 853-7962	FAX 853-7965

または、最寄りの「地域包括支援センター」まで

主な紙面

- 被災地から学ぶもの.....1
- ヘルストリビューン.....2
- ほけんインフォメーション.....3
- 津波浸水想定マップ(那覇空港・具志志).....4
- 松山公園連携施設愛称募集.....5
- 環境トピック.....6
- 4.....7
- 5.....8
- 6.....9
- 7.....10
- 8.....11
- 9.....12
- 10.....13
- 11.....14
- 12.....15

お問い合わせ

- 福祉政策課(福祉避難所、避難支援希望者名簿について).....☎862-9002
- 市民防災室(防災対策検討女性チームについて).....☎861-1102

女性チームによる提言

- 1 「避難所運営マニュアル」の整備
現行の市地域防災計画にある担当名・役割名だけでなく、より具体的な「避難所運営マニュアル」の整備。また、各避難所地域の特性を活かせるように市民と協働で作成すること。
- 2 災害用マンホールトイレの設置
災害弱者が利用することも考えた緊急用トイレを避難所に設置する。現在は10基障がい者用2基含む(マンホールトイレが新都心地区に整備されています。(テントと便座等の上物は緑化センターと上下水道局にて保管)
- 3 避難者カード、避難者名簿の様式見直し
災害時に避難者が記入する「避難者カード」、そのカードを元に作成する「避難者名簿」の様式を、もつと避難者の情報が分かり、情報開示意思の可否が分かるように見直す。



国は、平成23年12月に見直した「防災基本計画」などで、避難所の運営や仮設住宅のコミュニティ運営に女性の参加を推進し、女性をはじめとする生活者の意見を反映できるように配慮するという内容を盛り込みました。市でも、女性の視点を取り入れた防災対策を促進する目的で、女性職員で組織する「防災対策検討女性チーム」を昨年5月に設置。1月には、検討でまとめた「3つの提言」を市の防災対策推進会議へ報告しました。さらに城間市長へも直接、提言内容の説明と意見交換を行いました。



▲城間市長へ直接提言内容を説明する防災対策検討女性チーム

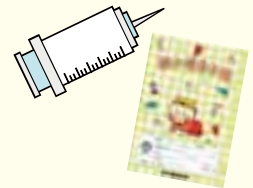
防災に対する意識を持つかどうか、もしもの時の落ち着き方が違ってくる。ぜひ、普段からの訓練や身近な人と話す機会をもってください。市では、これからも色々な人の視点や意見を反映させた防災計画・対策を推進してまいります。

防災対策検討女性チーム設置

予防接種を受けに行こう！ ～「子ども予防接種週間」～



毎年3月1日～7日までの一週間は「子ども予防接種週間」です。4月からの入園、入学、進級などを前に、親子ともに胸を膨らませていることでしょう。ぜひこの機会に、お子さんの親子健康手帳を見直し、予防接種の受けそびれがないかを再確認しましょう！



ワクチンや予防接種って、そもそも何？

いろいろな感染症の原因となる細菌やウイルスの病原性を弱めたり、またそれらの毒素を無毒化したりしたものを「ワクチン」といい、それらのワクチンを接種することを「予防接種」または「ワクチン接種」と言います。予防接種をすることで、病気に軽くなかったような状態をつくり、そのことで体に病気に対する抗体(免疫)ができ、結果、その病気にかかりにくくなります。



ワクチンよりも、自然にかかった方がいいのでは？

答えはNOです！自然にかかったほうが、一生継続く終生免疫が得られて丈夫な体ができる、と誤解されている方もいるかもしれません。確かに、自然にかかったほうが、より高い免疫が得られますが、その分、大事な家族や周囲の方へ感染させてしまう恐れや、時に重篤な合併症を引き起こすなどの大きなリスクを伴います。



一方、予防接種は感染を予防することで、重篤な合併症も避けることができますし、人にうつす心配もなく、自然感染よりはるかに安全に免疫を体につくることができます。

また、最近では「麻しん」などに自然にかかっただけでは、終生免疫ができるわけではないことも分かってきました。予防接種した人も、自然感染した人も、実はその後少しづつ、そのウイルスにさらされることによって、免疫が持続します。低くなりかけた免疫を増強させることを「ブースター効果」といいますが、最近では自然に麻しんウイルスにさらされる機会が減ったため、ブースター効果を得るためには、予防接種を複数回打つ必要があるのです。



任意接種は受けなくていい？

これも答えはNOです！任意接種も受けた方がいい予防接種です。予防接種には、国が強く接種を勧め原則無料で受けられる「定期接種」(日本脳炎は一部自己負担あり)と、ほぼ全額自己負担の「任意接種」があります。任意接種を受けるかどうかは、個人判断に任されていますが、任意接種だから受けなくていいというわけではありません。

例えば任意接種の一つである「おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)」は、昨年夏頃から今年1月25日現在、県内では例年以上の流行が発生しています。(表1、図1)

(表1) 県内 おたふくかぜ(流行性耳下腺炎) 報告数 年次別

	2010年	2011年	2012年	2014年	2015年
報告数	3530	955	472	1672	385※

※2015年1月25日現在
データ：沖縄県感染症情報センター

(図1) 県内 おたふくかぜ(流行性耳下腺炎) 報告数 週別



おたふくかぜは、髄膜炎や精巣炎などの合併症も有名ですが、1000人に1人(流行している小規模な集団では400人に1人)の割合で、難聴の合併症が報告されています。おたふくかぜの後の難聴は片耳がほとんど聞こえなくなり治療法もなく、自然治癒が難しいとされています。

また、おたふくかぜによる片耳難聴はもう一方の耳は聞こえるため、難聴になった事に気がつきにくく発見が遅れてしまうケースもあります。任意接種とはいえ、「わが子を怖い病気から守る」という意味では定期も任意も変わりはありません。

入学準備に麻しん風しん(MR)混合ワクチンを！

4月からのピカピカの小学一年生のみなさんは、麻しん風しん(MR)混合ワクチン(2期)の定期接種の対象です。MR混合ワクチンはもう受けましたか？定期接種の期間は今月いっぱいですのでご注意ください。入学準備として、忘れずに予防接種を受けましょう。



お役立ちアプリ

スマートフォン、iPhone対応アプリのご紹介

「予防接種スケジューラー」

http://www.know-vpd.jp/vc_scheduler_sp/index.htm

(NPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会)

※接種したワクチンの記録だけでなく、これから受けるべきワクチンの種類や予定日などをお知らせします。



お問い合わせ 健康増進課 ☎853-7971



市が認定する「健康づくり協力店」こだわりのレシピ紹介

「ゆし豆腐」

1品の調理時間：10 分
(1人分 カロリー：98kcal、塩分：1.4 g)

〈材料・分量(4人分)〉

- ・ゆし豆腐……………720g
- ・小ねぎ……………4g
- ・薄口しょうゆ……………大さじ 1/2
- ・だし汁……………400cc

〈作り方〉

- ①だし汁をつくる。
- ②ゆし豆腐の汁は捨てずに、だし汁を加える。
- ③薄口しょうゆを加えて味を整える。
- ④ネギをトッピングする。



ワンポイント ・あまり火にかけ過ぎない。

ゆし豆腐は味噌を加えたり、そばに入れたりといろいろな食べ方がありますが、今回のレシピは出汁と醤油で味付けるシンプルな食べ方です。豆腐の原料は「畑の肉」と言われる大豆で、良質なタンパク質を多く含み、その他にもミネラル、ビタミンなども含まれている優れた食品です。しかし、逆に脂質や塩分も多く含まれているので食べ過ぎに注意しましょう。

ゆし豆腐や豆腐はお店によって味や柔らかさも異なります。楽しみながら、自分好みのお豆腐を見つけるのもイイですね。



健康づくり協力店

『那覇市役所庁内レストラン』

住所：那覇市泉崎1-1-1 電話：988-9733
営業時間：8：00 ～ 17：30 定休日：土・日・祝日

お問い合わせ

健康増進課 ☎853-7961 FAX 853-7965

みなさんの健康づくりに役立つ情報をはじめ、
さまざまな保健・衛生に関する情報をご紹介します。

乳幼児健診を受けましょう！

市では、乳幼児のお子さんを対象に健診を行っています。とても成長の早い時期だからこそ、お子さんの成長を確認してみませんか？

■乳児健診(前期・後期)
通 知：(前期)3カ月頃、(後期)9カ月頃
※前期は6カ月未満、後期は1歳未満であれば受診可能
健診日：3月8日(日)、22日(日)、29日(日)
受 付：9:00～10:45(後期)、13:00～15:00(前期)

■1歳6カ月健診
通 知：1歳8カ月頃 ※2歳未満であれば受診可能
健診日：3月5日(木)、11日(水)、19日(木)、26日(木)
受 付：13:00～14:30

■3歳児健診
通 知：3歳6カ月頃 ※4歳未満であれば受診可能
健診日：3月3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)
受 付：13:00～14:30

会場はいつでも【那覇市保健センター】
対象時期に、個別通知をおこなっています。
※「年間予定」はホームページでご確認ください。
(「那覇市 乳幼児健診」で検索)

お問い合わせ 地域保健課 ☎853-7962

2歳児歯科健診事業終了

2歳5カ月～3歳未満のお子さまを対象に、これまで「2歳児歯科健診」を実施してきましたが、平成27年3月末をもって事業を終了いたします。
通知のあったお子さま(平成24年3月～9月生まれ)で、まだ健診を受けていない方は早めの受診をお願いいたします。

お問い合わせ 地域保健課 ☎853-7962

すこやかな妊娠と出産のために ～ 妊婦健診を必ず受診しましょう ～

妊娠中は体にいろいろな変化が起こります。特に気がかりなことがなくても、定期的に妊婦健診を受けて、お母さんとおなかの赤ちゃんの健康チェックをすることが大切です。

Q妊婦健診ってお金がかかるの？
最高14回までの健診費用が一部公費負担されます。親子(母子)健康手帳を交付する際に、妊婦健康診査の受診票、風疹・HIV抗体検査・クラミジア抗原検査などの受診票も一緒に配付しています。受診票は県内医療機関で利用でき、記載されている検査項目について公費で受けられます。(公費負担には上限額があり、受診票の金額を超えた場合は自己負担となります)

**Q妊婦健診ってなにをするの？
メリットはなに？**
妊婦さんの健康ぐあいや、お腹の赤ちゃんの育ちぐあいをみるため、身体測定や血液・血圧・尿などの検査をします。(超音波検査8回分が公費負担で無料)
特に、貧血、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病などの病気はお腹の赤ちゃんの発育に影響し、母体の健康を損なうことがあります。妊婦健診を受けることで、病気などに早く気づき対応することができます。
母体と胎児の健康のため、必ず、妊婦健診は定期的に受けておきましょう。

Q受診のタイミングは？
望ましい妊婦健診の回数は、妊娠週数23週までは4週間に1回、24週から35週までは2週間に1回、35週から出産までは1週間に1回の受診をおすすめしています。1回目が妊娠8週頃とした場合、受診回数は合計14回くらいになります。症状によっては、早めの病院受診、医師への相談が必要になりますので自己チェックにも努めましょう。

※親子健康手帳・受診票の交付は、自己申告で行うことができます。(医療機関からの妊娠証明書は必要ありません)
※妊婦健康診査の事業費の一部は、「特定防衛施設周辺整備調整交付金」が充てられています。

【気をつけたい症状】
☐むくみ ☐がんこな便秘 ☐性器出血
☐普段と違うおりもの ☐腹痛 ☐強い頭痛
☐発熱 ☐つわりで衰弱がひどい ☐下痢
☐イライラ ☐めまい ☐動悸が激しい
☐はきけ・嘔吐 ☐強い不安感
☐今まであった胎動を感じなくなったとき

お問い合わせ 地域保健課 ☎853-7962

働き盛り・子育て孫育て世代のための健康講演会 突然死からあなたを守る基礎知識

沖縄県は65歳未満で亡くなる方が男女とも「全国1位」です。働き盛りで突然亡くなる方の多くは、**心筋梗塞**や**脳卒中**が原因です。実はどちらも同じ…血管に傷がついたり、硬くもろくなるためにおこる病気です。今回は、血管のスペシャリストである循環器専門医による講演会を開催します。大事にしたい家族がいる、やりがいのある仕事がある、でも忙しくて身体のことは後回し…そんなあなたのご参加をお待ちしています。

■日 時 3月19日(木) 19:00～20:30(受付 18:30)
■会 場 那覇市役所 12階 第一研修室
※**駐車場は有料です。**
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
■講 師 間仁田 守 医師(那覇市立病院 循環器専門医)
■定 員 80名(定員に達し次第締め切り)
※電話にてお申し込みください！
■対 象 市内在住の方(おおむね20代～60代の方)
■参加費 無料

お申し込み・お問い合わせ 特定健診課 ☎862-0564

コレステロール
高いけど
何か問題でも
ありますか？

血圧の薬
一生飲むって
聞いたけど
本当ですか？

血糖値は高いけど
まだ糖尿病
じゃないと
思っていますが？

あなたの疑問に
お答えします！

受けましたか?がん検診

3月末まで！

今年度のがん検診期間も残りわずかです。例年、年度末にかけての「かけ込み」受診が目立ちます。医療機関によっては、予約の都合上受診出来ない場合がありますので、なるべく早めの受診がオススメです!!

- 各種がん検診を受診するためには「受診券」が必要です。
※国保加入者は「国民健康保険被保険者証(国保証)」と「受診券」が一体化されていますので、国保証でがん検診を受診することができます。
- 社保の方も職場で検診がない場合は「受診券」が利用できます。
- 受診券が届かなかった方や紛失した方は、お問い合わせください。

＜受けられる検診＞
胃がん(バリウム)、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん(視触診・マンモまたはエコー)、歯周疾患、生保健診(特定健診と同等の検査内容)

お問い合わせ 健康増進課 ☎853-7961

那覇市食生活改善推進員と学ぶ 「TUNAGU」(つなぐ)パートナーシップ教室

健康づくりの主目的である「減塩」と「野菜あと一皿(70g)」を重点テーマとして、講話や調理実習から生活習慣病の予防について学びます。

■日 時 3月12日(木) 10:00～15:00
■場 所 那覇市保健センター(那覇市字金城3-5-3)
■内 容 テキストを中心に学ぶ(生活習慣病や正しい食習慣、ロコモと運動について)、調理実習
■持ち物 エプロン、三角巾、手拭き
■定 員 30人 ■対象者 市内在住の方
■受講料 1人:350円(食材料費)

お問い合わせ 健康増進課 ☎853-7961



地方独立行政法人
那覇市立病院

☎ 884-5111(代表)
ゆいレール：「市立病院前」下車
24時間365日診療体制

当院は「地域医療支援病院」として地域の医療機関と連携しつつ、救急医療や高度医療を提供しています。**外来診療は、当日の状況等により受診できない場合もございますので、予めご了承ください。**

内科外来は「再診外来」、紹介状をお持ちの方の「紹介外来」になりました

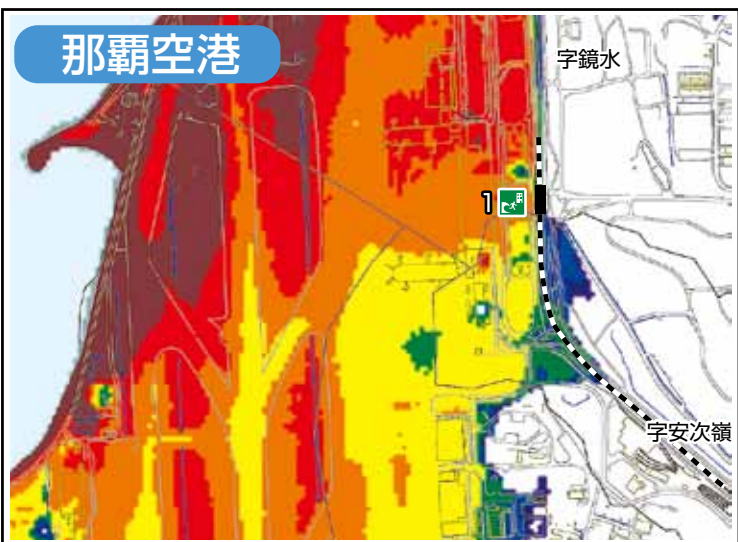
●診療時間／月～金 8:45～17:00(左記以外は急病センター)

	時間帯	月	火	水	木	金
内 科	午前・午後			予 紹		
小 児 科	午前	○	○		○	○
	午後			予 紹		
外 科	午前・午後			予 紹		
脳 神 経 外 科	午前	○	○	紹	○	○
	午後	予 紹	予 紹	/	予 紹	予 紹
皮 膚 科	午前	○	○	○	○	○
	午後	/	予 紹	/	予 紹	/
産 科	午前	○	○	○	○	○
	午後			予 紹		
婦 人 科	午前・午後			予 紹		
耳 鼻 咽 喉 科	午前	紹	紹	/	予 紹	紹
	午後	/	/	/	予	/
眼 科	午前・午後	予	/	予	/	予
整 形 外 科	午前・午後			予 紹		
泌 尿 器 科	午前・午後			予		
歯科口腔外科	午前			紹		
	午後			予		

紹介状持参の方 予約のある方

那覇市 津波浸水想定マップ

市民の友12月号(6・7面)に掲載しました「津波浸水想定マップ」のうち、掲載出来なかった那覇空港、具志地域を追加でご案内いたします。その他の地域については、市ホームページに掲載する市民の友12月号よりご覧ください。(なは市民の友)で検索。また、自分たちが住む対象地域の詳細を知りたい場合は、市ホームページに掲載する「防災マップ」よりご覧ください。

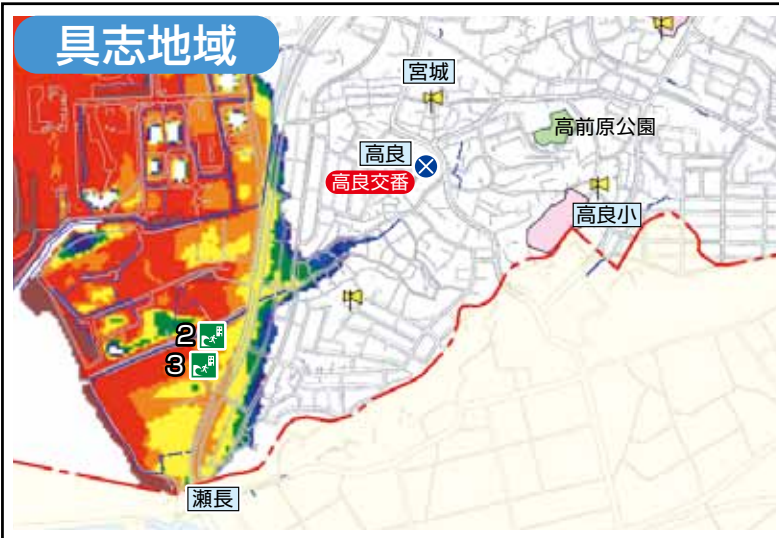


凡例

- 津波緊急一時避難施設
津波に対しての安全な避難場所
(津波避難ビル)を示す。
- 公園
- 学校
- 防災行政無線
- 警察署・交番

津波緊急一時避難施設

施設名称	所在地	収容人数
1 ゆいレール那覇空港駅	字鏡水938-5	208
2 スカイレーン	字具志875	3,721
3 スカイスポーツ	字具志885	2,522



お問い合わせ 市民防災室 ☎ 861-1102

津波緊急一時避難施設の使用について：大津波警報が発令されたときから、当該警報が解除され浸水が解消し他の災害避難場所へ安全に移動できるまでの間です。

津波浸水予想図

津波の高さ	分類	とるべき行動
0.5m未満	注意報 津波	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。
0.5m以上～1.0m未満	注意報 津波	
1.0m以上～2.0m未満	警報 津波	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
2.0m以上～3.0m未満	警報 津波	
3.0m以上～4.0m未満	大津波警報	
4.0m以上～5.0m未満	大津波警報	
5.0m以上	大津波警報	

松山公園連携施設の愛称募集



現在、福州園隣に建設中の公園施設について愛称を募集します。琉球の歴史に触れる展示室や福州園を眺めるレストラン、イベント広場など、公園利用者をはじめ観光客を含めた多くの方が、楽しみ・憩えるような施設となります。

【応募資格】県在住・在勤または在学の方 【募集期間】3月18日(水)まで

【応募用紙】ホームページからダウンロードまたは花とみどり課窓口にて配布

【提出方法】郵送・FAX・電子メールまたは窓口へ提出。

【郵送】那覇市泉崎1-1-1 花とみどり課 【FAX】951-3226

【Eメール】b-park001@neo.city.naha.okinawa.jp

選考結果は、ホームページにて公表します。※くわしくはホームページをご覧ください。

<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/hanamidori/>

お問い合わせ 花とみどり課 ☎ 951-3225

環境トピック

やめようポイ捨て!! ちりも積もれば山となる

1 市内の不法投棄

市には不法投棄ごみやごみ置き場に関する苦情・要望が毎日寄せられ、平成26年中は1,374件にものぼっています。不法投棄されやすい所は、①人目につかず管理が行き届いていない所 ②手入れされず草木が伸び放題の空き地 ③いつもごみがあるごみ置き場、があげられ、適切に管理することが求められます。

市では、苦情などに対して聞き取りをして違法な投棄者に指導するとともに、投棄ごみへの警告ビ



市内公園近くの歩行者道路。ごみのごみを呼ぶように増え、ごみの山になってしまいます。

※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第25条1項(投棄禁止違反をした者)5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金又はこれを併科する

ラの貼付、ごみ置き場の場所変更や啓発看板の設置などで改善に取り組んでいます。

2 ポイ捨てごみ

不法投棄のなかでポイ捨てされるごみは、主に「飲み物の缶・プラスチック容器」「たばこの吸い殻」「お菓子の袋」などです。これらは不法投棄されやすい場所のほか、歩道、路地、公園や花壇、電柱下、植栽内などのものがけに捨てられ、街の景観を損なっています。

ポイ捨てごみ

は、主に道路沿いの店舗や事業所の人たちが、通り会、自治会、ボランティア団体により清掃され、街並みはきれいになります。が、しばらくするとまた散乱するのが現状です。



通り会や自治会のみなさんが、簡単にポイ捨てされない様に定期的なごみ拾いで街をきれいにしていきます。

3 ごみ用マナーグッズを持とう

市は通り会、自治会、ボランティアなどによる「地域清掃」活動を支援しており、ポイ捨てなどの集められたごみを、収集車を出して市の処理施設へ運んでいます。また、飲料自動販売機の缶・プラスチック容器の散乱には条例により、自動販売機へ空き缶回収ボックスを設置するよう事業者へ指導を行なっています。

市の「地域清掃」支援の受付件数は平成26年中で991件(台風ごみを含む)となっており、多くの人員と費用を要しています。外出するときはごみ用マナーグッズとして『持ち帰り用ごみ袋』『携帯灰皿』をもち、ごみを他者まかせでなく自ら処理することが求められています。

より美しいまちづくりのため、ポイ捨てはやめましょう。



※「那覇市ごみのポイ捨て防止による環境美化促進条例」第3条 市民等は家庭外において自ら生じたごみを持ち帰り、又は回収容器等に収納しなければならない。

お問い合わせ クリーン推進課 ☎ 889-3567



1/28 新たに4団体が調印 ～公園ボランティア調印式～

「公園ボランティア調印式」が市長応接室にて行われました。今回新たに調印された企業は、株式会社沖縄共聴設備、富士古河E&C株式会社 沖縄営業所、株式会社中電工 沖縄営業所、有限会社五光園の4社です。

沖縄共聴設備の上原さんは、30年間、近所の公園にボランティアで花を植え、手入れをしていたところ「許可がいるのでは？」と不安に思い、市役所に尋ねたことが公園ボランティア調印のきっかけとなりました。「那覇市の活性化のために今後も奉仕活動が続けていきたい」と語りました。



2/4 地域の伝統受け継いで ～平成26年度 種まき事業発表会～

「平成26年度 伝統文化継承種まき事業・成果発表会」が那覇市役所3階で行われました。「種まき事業」は、市内の保育所に通う子ども達が地域の伝統文化に触れ、興味・関心をもち将来へ継承されることを目的としています。発表会には演技披露で大道保育所、赤平保育所、与儀保育所、宇栄原保育所、若狭浦保育所、展示品(紅型)披露で松川保育所が参加しました。

園児たちの琉舞やエイサー、ウチナーグチ劇の発表に、観覧者や職員からは大きな拍手が送られました。



2/4 全国大会でもチバリヨー！ ～ミニバスケット優勝校来訪～

ミニバスケットボールの第7回ワラビーカップ・第29回県冬季選抜大会で男子優勝した上間小学校、同じく女子優勝した小禄南小学校の生徒のみなさんが市役所を訪れました。上間小男子チームは夏に続いたの優勝、小禄南小女子チームは雪辱を果たしての優勝でした。両校は今年3月の第46回全国ミニバスケットボール大会に県代表として出場します。

久高副市長は「素晴らしい成績をあげられたのは、親や先生方、コーチの支えがあってこそ。県代表という誇りを持ってがんばってほしい」と激励しました。



2/8 協働による那覇の まちづくりのための連携講座

協働のまちづくりとはどのようなものか理解を深めることを目的として始まった全4回の最後の講座が行われました。この日は今年4月に開館する『なは市民協働プラザ』の見学会や、これまでの講座を通しての発見や課題が議題となりました。

城間市長は「課題があるからこそ今後とも意見交換し合うことが大切です。『なは市民協働プラザ』が拠点となり、市全体へ協働精神が広がるように、みなさんの活動をこのプラザから発信してってください」と挨拶されました。



2/8 よりよい成人式をつくるために ～2015成人式アワードinなは～

各地区で行われた成人式の取組みを紹介し、その成果と課題を共有するため、「2015成人式アワードinなは」が中央公民館ホールで行われました。大賞には、地域清掃や夜間パトロール等のボランティア活動を行い、保護者や地域の協力で今回初の単独開催した金城中学校区成人式実行委員会が選ばれました。

大賞の他、金賞1校区(石田中学校区)、銀賞1校区(仲井真中学校区)が選ばれました。また、プレゼンテーションに優れた中学校区として小禄・鏡原中学校区と寄宮中学校区の成人式実行委員会が審査委員特別賞を受賞しました。



2/10 働き盛りの健康を目指して ～頑張る職場の健康チャレンジ報告会～

それぞれにテーマを掲げ、職場ぐるみで健康づくりに取り組んだ「頑張る職場の健康チャレンジ」の報告会が行われました。

今回は3事業所(和高建設工業、まつやま保育園、有限会社スタプランニング)が取り組みを行い、各事業所は毎日の血圧・体重の記録や体操・ヨガ、健康講話などを実施されたとのことです。報告会の最後には、市より3事業者へ「健康チャレンジ優良事業所」の認定証が贈られました。



2/10 那覇の味、再発見 ～第37回「那覇の物産展」 那覇市長賞 表彰式～

第37回「那覇の物産展」那覇市長賞表彰式が応接室で行われました。最優秀賞は沖縄繁多川島豆腐めん事業協同組合の『琉宮の白弦 島豆腐うどん・島豆腐そうめん』。代表で出席した津覇さんは「今後50年、繁多川の島豆腐産業が続くよう始めたプロジェクト。賞をいただけて皆様の目にとまることが感謝にたえません」と受賞の喜びを語りました。市長賞には最優秀賞の他、食品の部・優秀賞2点(shouzu sweets OZ、さくら家さくら)、同じく非食品の部・優秀賞2点(日本月桃株式会社、株式会社沖縄ゴールデンファーム)が選ばれました。

2/12 今年度7団体が締結 ～第7回道路ボランティア懇談会～

道路ボランティア協定を結んだ各団体への感謝と団体相互の交流を深めることを目的に「第7回道路ボランティア懇談会」が行われました。今年度協定を締結したのは、松川通り会、田原ニコニコふくぎ会、株式会社沖縄特電、富士電機株式会社沖縄支社、開南っ子お花でいっぱいGMC、有限会社中央環境サービス公社、有限会社スタプランニングの7団体です。

城間市長は「住んでいる人たちの安心感や子どもたちの道徳心はこの活動によって相乗効果が生まれると思います」と挨拶されました。



平成27年度 施政方針

(概要)

※全文は、市ホームページでご覧になれます。
http://www.city.naha.okinawa.jp/

はいたい
ぐすーよー ちゅーうがなびら。

私は、昨年11月、翁長市政の継承発展と「ひと つなぐ まち」というキャッチフレーズを掲げ、多くの市民の皆様からの負託を受け、第32代那覇市長に就任いたしました。

県都である那覇市の市長として、市政を預かる責任の重さを大変重く受け止めており、今後、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りながら、市政運営に全力を尽くしてまいります。

ゆたさるぐとぅ
うにげーさびら。



市政運営の基本姿勢

（ひと つなぐ まち）

私は、目指す市政運営を「ひと つなぐ まち」という言葉で表現しております。その言葉には、「人がまちをつくり、社会をつくり、世界をつくる」「人材がすべてに共通する財産である」という、三十年余にわたって教育現場に携わってきた、私の信念とも言える思いが込められております。

これからの市政運営におきまして、私は、教育現場で培ってきた人材育成力をしっかりと活かしていききたいと考えております。

たとえばギネスブックの認定記録を持つ那覇大綱挽きの綱には、手綱（ていーん）が250本余り取り付けられています。細い綱も、より合わせつながらことで大綱としての力強さを備えていきます。

私の目指す市政運営におきまして、大綱と同じように、人をつなぐ、平和をつなぐ、市民と市役所をつなぐ、というように、様々な取組みをつなぎ合わせ、多くの力をつむいでいくことで、市民との協働によるまちづくりを成熟した形へと進めていきたいと考えております。

県都としての誇りと求心力という財産を強みとして、多くの人々が集い、そのつながりから地域が、まちがつくられていく、そのような市政運営を進めてまいります。

（協働の仕組みの完成に向けて）

本市には、まちづくりにおいて大きな役割を担っている団体やNPOが数多くあります。平成20年度から委嘱を行ってきた協働大使も今では500人を越えております。その他、多くの市民がボランティア等でまちづくりに携わっており、協働の裾野が、点から線へ、線から面へと広がっていることを大変心強く感じております。

4月には、希望の「なは市民協働プラザ」がオープンいたします。この施設を、これからの那覇市を担う団体の活動拠点とし、様々な取組みへとつなげていきたいと思っております。

本市が誇る伝統工芸・首里織のように、多様な色や個性を活かしながら模様を織り成し、相乗効果を発揮する。そのようなまちづくりのイメージを描いております。

「ひと」「知恵」「情報」など、多くの力をつむぎあわせ、市民の皆様と心をひとつにして協働によるまちづくりを揺るぎないものと発展させてまいります。

（持続可能な行財政運営を目指して）

少子高齢化、人口減少など全国的に社会構造が大きく変化する中で、本市においても、今後、人口構成は大きく変わっていくものと予想されています。

また、全国の他の自治体と同様に、本市の財政状況におきましても、扶助費が増大しており、今後とも厳しい財政運営が続くものと予測しております。

一方で、老朽化した学校や公共施設の更新、また、新たな需要に対応した施設整備も、待ったなしで進めなければなりません。

私は、市長として、多くの課題を解決しながら、財政面においても健全な運営を図り、32万那覇市民の皆様のみならず、さらにその次の世代へとつないでいくことを念頭に、その責任の重さを、今、非常に強く感じております。

そのために、ファシリティマネジメントの手法を取り入れるなど、経営戦略的な視点で公共施設の有効活用を図ることも視野に入れながら、強固な財政基盤を築くことを目指してまいります。

（学校を中心とした新たなまちづくり）

これまで取り組んできた市民との協働によるまちづくりを更に推進し、広く市民参加を進めるためには、地域コミュニティの再構築が必要であると考えております。

また、持続可能な行財政運営を図る上でも、今ある公共施設の、より効率的な活用を目指すべきと考えます。

多くの市民の皆様にとりまして、最も身近な公共施設といえば学校。特に小学校ではないでしょうか。

私は、学校という「財産」と、地域の「力」をつなぎ、子どもたちの安心・安全な居場所である学校を、地域に最も身近な「地域コミュニティの拠点」として有効に活用する方向で、取り組みを進めてまいります。



具体的には「学校施設の複合化・オープン化」に取り組んでまいります。

学校施設という地域の財産を有効活用することで、地域につながりを生み出すとともに、待機児童の解消、高齢者福祉等、本市が抱える様々な課題の解決や、市民サービスの向上につなげたいと考えております。

（女性と子育て）

私は、那覇市初の女性市長として、那覇市の歴史に新たな1ページを刻むことができました。

「待機児童解消」という喫緊の課題が大きくクローズアップされるこの時期に、私が市長に就任したということとは、まさに、私に課された天命なのではないかと考えております。

私自身、働きながら二人の子どもを育てた経験から、保育所整備の必要性については、わが身を持って強く実感しております。また、教育現場においても、子どもたちや、その保護者の皆様と関わりつてきた経験があります。それらの経験を振り返ってみましても、子育ては決して一人でするものではなく、多くの人のつながりの中ですべきものと考えております。

女性が安心して働くことができる環境を整え、女性の職場進出を広げていくことは、男女共同参画及び少子高齢化が進む流れにおいても有意義だと考えます。男女ともにワークライフバランスをとりながら活躍できる社会を目指すことは、多様性を認め合い、すべての世代にとつて暮らしやすい、私たちの目指す「沖繩らしい優しい社会」を実現することに他なりません。

母親の笑顔が、子どもの笑顔につながる。

男女共同参画社会の面でも、本市がフロントランナーとなることを目指して、女性の目線、女性がイキイキと活躍できる環境整備と待機児童解消に、全力で取り組む所存です。

（次代を担う人づくり）

沖繩の未来を考えると、「人づくり」は、私たち大人が共有すべき重要な課題になると思います。

沖繩は、夜型社会と言われております。基本的な生活習慣の改善は、健全育成や学力向上だけでなく、子どもたちの夢や希望の実現へとつながっていきます。

未来を担う子どもたちの可能性を伸ばす環境を整えること。すなわち「人づくりこそ、子どもの笑顔が輝くまちづくりの第一歩であり、すべての大人が未来への思いを共有し、地域が一体となつて取り組むべきものだと思ひます。

観光業界を始めとして沖繩経済に明るい光がさす今、幅広い分野で活躍できる人材が求められています。

子どもたちの自己肯定感を育むことで、将来、その子どもたちが沖繩の誇りを



胸に社会へ、そしてグローバルな世界へと羽ばたいていく。沖繩が日本のフロントランナーとして経済を牽引し発展していくという未来像を実現するためにも、次代を担う質の高い人材の育成に力を尽くしてまいります。

（中心市街地へにぎわいを）

那覇空港と那覇港を擁する本市は、日本におけるアジアへの空と海の玄関口であり、人と人、人と地域をつなぐ国際観光都市として、また、人とモノをつなぐ国際物流拠点として、国内はもとより、アジア各地から熱い視線を集めております。

円安の追い風を受け、中国を始めとするアジアからの観光客が増加する中、中心市街地の活性化につけてこれほどの好機は無いと、とらえております。今こそ、マチグワウの魅力を活かし中心市街地の活性化を図るため、観光客のみならず地元客もひきつけられる新しいにぎわいを創出する仕組みづくりが必要とす。

求心力の高い施策を積み重ねて実施することで、国際観光都市・那覇のグレードをさらに高め、県都としての輝きを堂々と世界に発信していきたいと思ひます。

沖繩県が「強くしなやかな自立型経済」を構築し、今後もさらなる本市発展の道を力強く確実に歩んでいくために、知恵を出し合い、工夫しながら取り組んでまいります。

予算編成

一般会計予算は、1344億7千万円で、対前年度比59億8千6百万円、4.3%の減となっております。

歳入予算では、市税、地方消費税交付金等の増を見込む一方で、地方交付税、国庫支出金等の減を見込んでいます。

歳出予算では、事業完了などに伴う建設事業費の大幅な減があるものの、生活保護費などの社会保障費は増となっております。さらに、学校施設の建て替えや耐震化事業、待機児童解消の施策を含む子ども政策や防災の充実事業、農産物市場地区市営住宅整備事業等に重点的に予算を計上いたします。

結果として約9億2千5百万円の収支不足が生じますが、財政調整基金約4億2千5百万円、減債基金5億円を取り崩して対応しております。

企業会計を除く特別会計予算は、総額約785億9千4百万円で、対前年度比約50億4千5百万円、6.9%の増となっております。特別会計予算の増額は、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計の増によるものとなっております。

国民健康保険事業特別会計におきましては、全庁的な取り組みにより生み出した財源を、政策的繰り入れとして投入することなどにより、単年度収支の改善を図りました。それでも、累積赤字は約50億円と見込まれており、依然として重大な課題と認識しております。

赤字の主たる原因が、沖繩県特有の事情によるものであることは明らかで、これは本市だけの問題ではありません。運営主体が都道府県へ移行する平成30年度までに、累積赤字を解消する必要があることから、平成27年度も一般会計から当初予算で15億円を繰り出すとともに、追加的な措置も講じてまいります。引き続き、累積赤字を解消するため、全力で

取り組みを進めてまいります。

主要事業

「心地よいつながりをつくる

自治・協働・平和都市」

（協働によるまちづくり）

「なは市民協働プラザ」を、協働大使を始め、入居団体や市民の皆様、協働によるまちづくりの核となる施設として活用していただき、本市の住民自治の発展につなげ、市民主体の協働によるまちづくりを推進してまいります。

小学校区コミュニティ事業では、与儀、石嶺、若狭、銘苅の各校区まちづくり協議会への支援を継続するとともに、新規に協議会を立ち上げる校区の支援を行います。

また、本市の目指す協働によるまちづくりについて市民に学んでいただくため、これまで継続してきた「なは市民協働大学」に加え、新たに「（仮称）なは市民協働大学院」を開講します。

（平和交流・男女共同参画）

市内の中学一年生を対象に実施してきた「思春期の心と体」のための意識啓発事業の対象を、市内全17中学校に拡大して実施します。

那覇軍港の跡地利用については、地主会との連携により、跡地利用計画づくりに向けた方向性の整理に取り組めます。

（市民に開かれた効率的な行政）

ファシリティマネジメントの活用等、長期的な視点で効率的な市政運営を図るため、新たな組織により経営戦略に取り組めます。

マイナンバー制度導入に伴うシステムの改修を行い、市民サービスの効率化と向上に取り組めます。

「地域力を活かし、生きがいをもつて

支えあう健康都市」

（健康づくりと地域医療の充実）

健康・長寿おきなわを取り戻すため、健康ウォーキング大会「ひやみかちなはウォーク」を開催し、市民の健康づくりを推進します。

「市民が健康寿命の延伸の実現に向けて、健康で安心して暮らせるまち」を基本理念として、市民総がかりで健康づくりに取り組む、第2次「健康なは21」（健康増進計画）を策定いたします。特に、生活習慣病予防対策に



については、医療機関と連携して重点的に取り組んでまいります。

平成27年度から、「健やか親子なは」（那覇市母子保健計画）10年計画がスタートします。「すべての親と子が地域の中でもにいきいきと健やかな生活ができる」那覇市をめざして、近隣や地域社会で助

平成27年度 主な事業一覧 (単位:千円)

- 生活習慣病重症化予防事業 (16,288)
- 職場が主体的に取り組む健康づくり支援事業 (4,698)
- 小児慢性特定疾患医療費事業 (188,217)
- 那覇市健康ウォーキング推進事業 (10,118)
- 待機児童解消加速化事業 (308,207)
- 児童クラブ環境整備事業 (13,200)
- 家庭的保育者等育成事業 (2,063)
- 母子家庭等職業自立支援事業奨励金 (2,000)
- 那覇市小中一貫教育推進事業 (43,097)
- 基礎学力向上のための学習支援事業 (39,700)
- 資源化物持去り防止拠点回収事業 (5,830)
- なは産業支援センター運営事業 (24,262)
- 頑張るマチグワー支援事業 (30,000)
- 国際通りとマチグワーのにぎわい事業 (37,634)
- 外国人観光客受入整備事業 (31,004)
- 校区まちづくり協議会支援事業 (3,310)
- 久茂地地区まちづくり推進事業 (4,830)
- 新文化芸術発信拠点施設整備事業 (55,815)
- 自動二輪駐車場管理運営業務委託(泉崎7号) (1,760)
- 「思春期の心と体」のための意識啓発事業 (610)
- 生き生き人材育成支援施設整備事業 (23,928)

け合う「地域力」が育つよう取り組みます。
季節性インフルエンザ等の感染症の発生状況を把握し、流行の予防対策を講じるとともに、エボラ出血熱等の発生状況を把握し、流行の予防対策を講じるとともに、エボラ出血熱等の重大な感染症の発生に備え、関係機関との連携を強化します。

(地域の支えあい)

民生委員や自治会、PTA等をつなげてネットワーク化を図り、地域活動を活発にすることで、地域の支え合いの基盤を強化し、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに引き続き取り組みます。
家庭の問題や失業等により生活困窮の状態におちいつている方に対して、専門的な立場から生活相談や就労相談を行う寄り添い型の相談窓口を設置し、個々の状態に応じた包括的な支援を行っていきます。

(自立を支援するサービス提供)

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、認知症地域支援推進員を那覇市地域包括支援センター12カ所に新たに配置し、認知症の人やその家族の支援及び地域支援体制の構築に取り組みとともに、地域包括支援センターの機能を強化します。
さらに、介護予防が必要な高齢者へ機能訓練等を提供するリハビリふれあいデイサービス事業を継続します。

また、障がいのある方々に対して、就労支援や身体的な介護、生活訓練などのサービスを提供し、地域で自立した生活を送ることができるよう支援を継続いたします。

「人・自然・地球にやさしい環境共生都市」

(地球環境への配慮)

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減及び環境保護についての意識啓発を図るとともに、住宅用省エネ設備の設置に対する費用を一部助成する事業を実施します。

またヒートアイランド現象の緩和等を目的として、緑のカーテン講習会や屋上・壁面緑化に対する一部

助成を継続し、建築物の緑化を推進します。

(資源循環型社会)

家庭から出た資源化物の無断持ち去り行為に対する指導業務を行うとともに、回収の拠点としてご協力いただく地域団体等に対して奨励金を交付し、資源化物の適正な回収を推進します。

(自然環境の保全・再生・創造)

平成31年3月末までに処理が求められている高濃度PCB廃棄物について、実態を把握するための調査を実施した上で、適正処理に向けた指導を行います。
また、市内の身近な自然環境の大切さを認識してもらうため、ホタルの観察会や漫画での清掃活動等を継続します。さらに、水資源の有効利用を推進してまいります。

(衛生的な環境の確保)

沖縄県と連携しながら食品衛生監視員の資質向上を図るとともに、食品に係る情報の共有や食品関係営業者への衛生講習会等を実施して食品の安全安心の確保に取り組みます。

「子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市」

(生涯学習の推進と地域の教育力の向上)

子どもたちにとって、身近で見る二流のプレーは、将来の夢を大きく広げてくれるものです。市民待望の本格的なJ1対応可能なサッカー場の実現に向けて、沖縄県との連携を前提に取り組みます。

(仮称) 真和志南地区活き活き人材育成支援施設の整備に向け、基本設計を行います。

(子育て支援と就学前教育・保育)

27年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」に基づき、親が安心して就労できるよう、子育て環境の充実に努めます。待機児童を解消するため認可保育所の創設、賃貸物件を活用した保育所整備

老朽化した法人保育所の増改築に対する補助を行い保育の受け皿を整備します。

また、「認可外保育施設運営費支援事業」を拡充し、認可外保育施設の認可保育園への移行を促進するとともに、保育の質の向上を図ります。

保育士の処遇改善に取り組みとともに、新たに創設される地域型保育事業の従事者を確保し、子どもを安心して育てることができるよう体制を整備します。

放課後児童クラブの充実を図るため、学校施設活用に伴う改修等の環境整備に取り組みとともに、放課後児童クラブ数及び受入児童数を増やします。

(子どもの視点に立った環境づくり)

確かな学力の向上、豊かな人間性・社会性の育成、中学校入學時の不安解消等の系統的な教育活動の充実を図るため、市内小・中学校に順次、小中一貫教育を導入します。

学校施設については、引き続き耐震化を進めてまいります。上間小学校と鏡原中学校の老朽校舎全面改築工事をはじめ、大名小学校の屋内運動場、真和志小学校の屋内運動場及び水泳プールの改築工事に着手します。

(文化の継承と発展)

国宝「琉球国王商家関係資料」修理事業の一環として、尚家文書の修理を行います。
新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)を久茂地地区へ建設するため、基本設計に取り組みます。

「人も、まちも活いき、美ら島の観光交流都市」

(産業の振興)

情報通信産業、国際物流関連産業、観光関連産業等の戦略的成長産業分野の集積及び市場開拓に資する企業の支援、市民協働団体との連携による地域の活性化に資することを目的とした「なは産業支援センター」を整備します。



外国人観光客の受け入れ態勢整備のため、国際通り周辺での案内サポートや店舗へのサポート要員の派遣等を行います

さらに、沖縄国際映画祭関連イベントとして国際通りレッドカーペット等を実施し、一層の観光振興に取り組めます。

国際物流拠点の形成や、安心・安全で魅力ある港湾の整備に向けて、那覇港管理組合と連携し、那覇港総合物流センター整備事業やクルーズターミナル空間創出事業等に取り組めます。

(まちの活性化)

「頑張るマチグワー支援事業」では、商店街自らの創意工夫による取り組みを支援し、地元客をひきつける特色ある商店街づくりを進めます。
また、国際通りやマチグワーに地元客や観光客が集まるよう、「ひやみかちマチグワー館」を中心に、伝統芸能や音楽イベント等を開催します。

第一牧志公設市場事業者や周辺商業者等との合意形成を図りながら、再整備の方針を決定し、平成27年度に、第一牧志公設市場の再整備に関する基本計画を策定します。

(就労支援・相談体制)

障がい者の雇用を促進するため、トライアル雇用期間の終了後も、引き続き3カ月以上障がい者を雇用した事業主に対して奨励金を支給します。

消費者の安全と安心を確保するために、相談体制の充実を図り、消費生活に関する啓発活動を継続的に開催して、消費者教育にも力を入れてまいります。

(都市防災と防犯)

「消防署所の適正配置計画」に基づき、(仮称)樋川出張所の建設に取り組みます。
自治会等が管理する保安灯の設置及び維持への補助を継続します。

「安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市」

(市街地の整備)

久茂地地区において、新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)の計画をふまえ、周辺地域活性化に寄与する、地区まちづくり計画の作成に取り組みます。

農産物市場地区の再開発事業において、市場店舗等の建築工事に着手し、活気とにぎわいにあふれるまちづくりに取り組みます。

モノレール旭橋駅周辺地区において、安全・快適で豊かな都市空間の形成を図るため、交通機能を始めとする多様な都市機能の整備を促進します。



石嶺、大名、宇栄原の各市営住宅の建て替え工事を引き続き推進します。

(交通体系の整備)

交通体系の整備では、城東城北線など都市計画道路と身近な生活道路の整備を継続し、沖縄都市モノレール延長事業につきましても、早期開業を目指し取り組んでまいります。

中心市街地の自動二輪車違法駐車対策とアクセス性の向上を図るため、自動二輪車駐車場の運用を開始します。

環境への負荷が少ないLRTなどの公共交通システムへの導入について検討を進めるとともに、真和志地域において、地域内公共交通の導入に向けた実証実験を行います。

(上下水道の整備)

首里石嶺地区や泊地区等におきまして、配水管を耐震化するとともに、真地配水池及び垣花ポンプ場の設備を更新し、水道水の安定供給に取り組みます。
また、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上を図るため、汚水管の未整備地区の解消、老朽化した汚水管の改築等に取り組めます。

さらに、浸水対策として、首里石嶺地区の雨水施設整備を実施します。

(自然と調和したまちなみ)

多様な観光客を迎える快適な観光地づくり及びまちづくりに向け、公共空間を整備し、沖縄らしい魅力的な空間を創出するため、地域や企業とともに、道路及び公園に草花等を植樹し、都市環境の美化に取り組んでまいります。

首里金城町の昔ながらの風景の保全継承のため、電線類の地中化による景観確保を推進します。

公園内にあるティゴや琉球松を害虫から守るため、防虫対策を実施するとともに、公園施設のグレイドアップを図ります。

那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するため、首里および壺屋において、新たな景観誘導手法を取り入れ、景観の向上に取り組めます。

また、景観の重要な要素となる赤瓦および琉球石灰岩を活用した工事費に対する一部助成を継続します。

結びに 輝きを未来へつなぐ

今年には戦後70年を迎える節目の年です。平和こそが沖縄発展の礎であり、その思いは、万人に共有されているものだと思います。私たちには、戦後、本市の発展を築いてこられた先達から受け取った平和のバトンを、次の世代につなぐ、という責任があります。

未来の世代への責任という意味では、この思いは平和だけにとどめてはなりません。少子高齢化に対応した社会制度の構築や地球環境への配慮等、持続可能な社会をつくるために、子や孫が生きる未来への思いを共有し、取り組んでいく必要があります。

本市は「2014年に人気上昇中の国際観光都市」として、日本国内で唯一ベストテン入りし、世界第6位に選ばれました。本市の、首里城を始めとする琉球王国時代の歴史の輝き、伝統文化の香りと、観光客を迎えるホスピタリティーが、観光で本市を訪れた世界中の方々を魅了したということは、大変喜ばしく、誇りに思います。

私は、観光客がもっとも魅力を感じる部分は、琉球王国の時代から脈々と受け継がれ育まれてきた、独自の伝統、文化、歴史の輝きという財産だと考えております。先人たちの知恵や経験を少しずつ積み重ね、つむぐことでしか得られない尊い光、その輝きを、子や孫の世代に確実につないでいきたい。そして人をつなぐ、平和をつなぐ、市役所と市民をつなぐなど「つなぐ」という発想を礎として、地域、文化、伝統、経済を、さらに輝きを増して未来に伝えていくために、県都としての求心力を活かし、様々な取り組みを展開してまいります。

風格ある県都・那覇市として、沖縄県の発展はもとより、日本全体のフロントランナーとして貢献できるよう、力を注いでいきたいと考えております。

市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。私の初めての施政方針の結びの言葉といえます。いっぺー にふえーでーびる。

平成27年2月16日

那覇市長

城間 幹子

末吉の森は自然がいっぱい!

那覇市に残された自然を体験できる末吉の森(末吉公園)で、様々な植物、昆虫などが観察できます。末吉公園内にある施設「森の家みんな」は、末吉の森の自然を活かし、子どもたちが自然体験・社会体験をする施設です。

みんなでは毎月、いろんなイベントを開催していますので、みんな遊びに来てね!

(住所) 首里儀保町4丁目79-8



▲生き物調べの様子

森の家 みんな 3月 イベント

開催日	時 間	イベント名	参加費	服装・持ち物など
7日(土)	10時~12時	空を見よう!	300円/1人	動きやすい服装、安全な靴
14日(土)	10時~12時	安謝川クリーンアップ作戦	無 料	汚れても、濡れてもいい服装・安全な靴
14日(土)	13時~15時	ドロ遊び!水遊び!ピオトープ	無 料	濡れてもいい服装・安全な靴
21日(土)	10時~12時	ネイチャーゲームしましよ!	300円/1人(保険代含む)	動きやすい服装、安全な靴
22日(日)	9時30分~12時	親子で森の遠足	300円/1人(保険代含む)	帽子、水筒
28日(土)	9時~18時	プロジェクトWET指導者養成講座	お問い合わせください	筆記用具、動きやすい服装・安全な靴
29日(日)	9時~18時	プロジェクトWILD指導者養成講座	お問い合わせください	筆記用具、動きやすい服装・安全な靴

お問い合わせ: 森の家みんな ☎882-3195

緑化推進講座 受講生募集

「ラン栽培講習会~基本編」(初心者向け) 「ベランダや屋上で楽しむ家庭菜園」

日程: 3月21日(土)13:00~15:00 日程: 3月8日(日)10:00~12:00

費用: 600円 費用: 1,200円(材料代込み)

定員: 40名限定 定員: 30名限定

申込: 期日までに電話
または来館

場所: 那覇市緑化センター
(新都心公園内)

お問い合わせ: 那覇市緑化センター ☎862-1947

「ブーゲンビレア講習会」

花が咲かないと悩んでいる方に
オススメ。

日程: 3月14日(土)10:00~12:00

費用: 600円

定員: 40名限定

大嶺海岸へ行こう!

~那覇市に残された最後の自然海岸~

那覇空港のすぐ沖合に広がる大嶺海岸は、那覇市に残された最後の自然海岸です。潮が引くと、干潟、藻場、岩礁、サンゴ礁など多様な姿をあらわします。そこにはいろいろな生き物が生息し、これまでに200種以上の生き物が確認されています。

みんなで、観察に出かけよう!



「大嶺海岸観察会」参加者募集!

【日時】 3月21日(土) 12時集合、15時終了予定

【集合場所】 瀬長島バッテリーセンター西側駐車場

【対象】 小学生以上、那覇市在住・在勤の方 ※中学生以下は保護者同伴

【申込】 3月6日(金)より受付開始 (環境保全課 951-3229)

※電話が直接窓口へお申込ください。

【定員】 40名 先着順 【参加費】 無料

【服装】 ぬれてもいい服(膝までぬれます)、飲み物、ぬれてもいい靴(雨靴・運動靴など岩場を歩けるもの。但しサンダルなど素肌を露出する履物は不可)、軍手。

※状況に応じ、雨具、バケツ、ドライバーなどは各自判断で。

お問い合わせ: 環境保全課 ☎951-3229

平成
27年度

協会けんぽ加入のご家族(被扶養者)様へ 特定健診のご案内

広告

健診は自身の健康状態を知る第一歩です。自身の健康状態を知るためにも健康診査を受けましょう!-協会けんぽでは、健診と健康づくりの支援を行っています-

特定健康診査【特定健診】の4つのメリット

1 お近くの病院で受診可能	協会けんぽが契約する県内約380ヶ所の病院やクリニック(診療所)で受診が可能!!
2 自己負担額500円	健診費用の約9割を協会けんぽが補助しますのでワンコインで受診できます!!(県内契約医療機関の場合)
3 市町村の集団健診でも受診可能	県内の各市町村が実施する集団健診を利用すれば自己負担額はわずか269円!!
4 無料の健康相談	健診後に、保健師・管理栄養士による健康相談(特定保健指導等)を無料で受けられます!!

申込みから受診までの流れ

▶ 受診券は、4月に、被保険者(加入者ご本人)様のご住所へお送りします。

受診券の受取り	健診の予約	受 診
受診券は黄色い封筒でお送りしますのでご確認ください	希望する健診機関に直接連絡し、予約します	健診機関で受診します。 「受診券」と「健康保険証」を必ずご持参ください

特定健診の受診券は、黄色い封筒でお送りしています。

全国健康保険協会 沖縄支部
協会けんぽ

お問い合わせはこちらまで

☎098-951-2011

協会けんぽ沖縄 検索

① 広報紙・ホームページ・市民便利帳
 ② 広報紙印刷製本業務の制限付き
 一般競争入札

【申請書配布】3月2日(月)～13日(金)秘書広報課(市役所5階)の窓口で受け取るか、市ホームページからもダウンロード可
 【申請期限】3月13日(金)までに窓口または郵送でご提出ください
 問 秘書広報課 ☎ 862・9942

生ごみ処理機、
 処理容器をご購入の方へ

家庭から出される生ごみを減らすため、生ごみ処理機および処理容器を購入する方に奨励金を交付します。
 ※必ず、ご購入前に廃棄物対策課までお問い合わせください。

対 生ごみ処理機…1世帯1台まで、生ごみ処理容器…1世帯2台まで

【金額】本体価格の3分の2(上限3万円)
 問 廃棄物対策課 ☎ 951・3231

資源化物を拠点回収する団体への
 奨励金

ごみの減量・資源化を推進するため、家庭から出される資源化物(古紙類・飲料缶)を回収・保管し、市に引き渡す団体に対して奨励金を交付します。
 対 自治会・PTAなどで構成され、定期的に総量200kg程度の資源化物を集めることができる団体

【金額】紙(5円/kg)、アルミ缶(100円/kg)、スチール缶(15円/kg)

申 事前に廃棄物対策課に登録が必要
 問 廃棄物対策課 ☎ 951・3231

教室・講座

健康講演会「血管を守ろう」透析患者が語る生活習慣病予防」
 生活習慣病予防に関する正しい知識や健診の重要性を透析患者が自らの体験を踏まえ、わかりやすくお話しします。

日 3月26日(木) 14時～15時半

場 那覇市保健所3階大会議室

対 市在住 申 申込み不要

問 健康増進課 ☎ 853・7961

一般市民対象「救命講習」

場	消防局(銘苅)4階講堂
内	I…心肺蘇生法(主に成人)、AED取扱い／ Ⅲ…心肺蘇生法(主に乳児および小児)、AED取扱い
対	市在住・在勤者
定	先着24人(同時に2人まで申込可能)
問	救急課 ☎ 867・119

日	講座・時間	受付開始日 ※1団体2人まで
3月10日 (火)	普通救命講習Ⅰ 14時～17時	3月6日(金)9時～ 電話受付のみ
3月18日 (水)	普通救命講習Ⅲ 14時～17時	3月13日(金)9時～ 電話受付のみ

催し物

世界遺産解説会

案内親方の解説を聞きながら世界遺産の「識名園」「玉陵」について学びます。

日 3月15日(日)

場 識名園(9時～10時)・玉陵(11時～12時)いずれも券売所前に5分前に集合

費 無料 申 直接集合場所へお越しください
 問 文化財課 ☎ 917・3501

消防フェアinさいおんスクエア

日 3月7日(土) 12時～16時
 場 さいおんスクエア内 はしご車、濃煙水中カメラロボット操縦体験、ヒーローショー・レスキューナーフ
 ※はしご車体験は人数制限があります。
 問 予防課 ☎ 867・0212



第13回那覇市障がい者美術展

日 3月27日(金)～29日(日) 10時～18時
 場 県立博物館・美術館1階県民ギャラリー
 内 絵画、写真、書、陶芸などの作品展示
 費 無料

問 那覇市身体障害者福祉協会
 ☎ 885・9444

島ぜんぶでおーきな祭 第7回沖縄国際映画祭

桜坂劇場やてんぶす那覇前で各種イベントが開催されるほか、29日(日)には国際通りレッドカーペットが実施されます。

日 3月29日(日) 12時～14時
 場 国際通り

※周辺地域や路線バスご利用のみなさんへ当日は国際通りの交通規制を実施しますのでご注意ください。

なは応援団員募集!「なは応援団」として広報活動や清掃活動に参加して、沖縄国際映画祭と一緒に盛り上げませんか?映画鑑賞割引などの団員特典もあります。

【年会費】一般(高校生以上)一口2千円(中学生以下)一口1千円、法人会員一口1万円

申 申込書に必要事項を記入後、年会費を添えて「なは応援団」事務局(那覇市観光協会内)に提出するかFAXでお申込みください。

FAX ☎ 880・6893

問 那覇市観光協会 ☎ 862・1442



那覇まちまぐいと廻る! なはまちまぐわー探検隊!

まちまぐわー(市場)の魅力をガイドと一緒
 に再発見しませんか?

日 3月14日(土) 11時～12時

場 てんぶす那覇前広場 費 無料

問 那覇市・まちまぐわー案内所

☎ 943・2110

那覇市ぶんかテンプス館 〔利用時間〕月9時～18時 火～日9時～22時 ☎868-7810				
4F テンプスホール				
日	開演	木曜芸能公演	費用	主催/問合せ先
5(木)	17時 19時	琉球舞踊 / うどうい福楽 他	一般 1,260円 中高 1,050円 小人 630円	那覇市ぶんか テンプス館 098-868-7810
12(木)	19時	八重山舞踊 / 勤王流八重山舞踊 無銘之会		
19(木)	19時	うちなー芝居 / 嘉陽田朝裕 春の特別講演		
26(木)	17時 19時	創作舞踊&ハワイアン琉球民謡 うりずん&踊い飛琉		
3F ギャラリー				
開催日	内容		料金	主催/問合せ先
3/6～8 10～18	輸入食器専門店創美主催 沖縄ガレッジセール		無料	株式会社創美 042-352-6345
3/15 13:30～16:00	UFO・ミステリーサークル パネル展&講演会		無料	JRM沖縄支部 090-6520-6850 (タンバ)

3/7(土)
第47回

はいさい市

開催時間 15:00～21:00
◎那覇市 牧志駅前交通広場等にぎわい事業

「中村あゆみ」
Special Live
開催!

20:00スタート!

デビュー30周年を迎え、「翼の折れたエンジェル」で
おなじみの「中村あゆみ」がはいさい市にやってくる!!

フリーマーケット「みんなのフリマ」も開催!!

最後はライブで盛り上がる!!

19:00～
SUZU

18:00～
5th Elements

はいさい市事務局 098-871-2112 詳しくは、はいさい市 検索

教育ローンもりゆうぎん!

特別金利キャンペーン

平成26年9月1日(月)～平成27年5月31日(日)

特典1

金利優遇

(+0.2%で団体信用生命保険の付保が可能です)
 ※しあわせ教育ローン(証書貸付型)のみ

特典2

在学中の学校宛
 振込手数料が 無料

※(注1)

▼詳しくは、りゆうぎん窓口 または▼

0120-38-8689 まで

受付/9:00～22:00
 (銀行休業日は除きます。)

ご注意:金利情勢の動向によっては適用金利を変更する場合がございます。審査の結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※(注1)対象子弟の預金口座を当行にて作成できる事、または既に口座をお持ちである事が条件です。また、ご融資の際に交付する「特別優待カード」を呈示、かつ窓口でのお振込に限ります。

琉球銀行

平成26年12月10日現在

広告

教育ローン
 合格バンザイ

合格前に事前予約
 できるので安心!
 最高2000円まで
 幅広く対応!

